

ダンレアリー・ラスダウン市との 友好交流都市協定締結記念 アイルランド 市民交流ツアー



友好交流都市調印式 (6月5日:市役所)

～参加者募集～

出雲市はアイルランド国ダブリン県ダンレアリー・ラスダウン市と友好交流都市協定を6月5日に締結しました。

ダンレアリー・ラスダウン市とは、2002年のワールドカップ出雲キャンプをきっかけとし、翌年から毎年、同市のセントジョセフボーイズAFCと出雲市の選抜少年サッカーチームが相互訪問するなど、市民同士の交流を行っています。また、アイルランドウィークを開催するなど継続的な交流も行っています。

アイルランド国内の都市との協定は全国初であり、市ではこれを記念して市民交流ツアーを企画しましたのでご案内します。



「モハーの断崖」(大西洋に突き出した高さ200m、幅8kmにも及ぶ雄大な断崖絶壁)



クライストチャーチ大聖堂(ダブリン市)



ウォーターフォードの夜景

アイルランドは「エメラルドの島」ともよばれ、国土全体が豊かな緑に覆われています。国中いたるところに国定公園があり、海拔の高い高地には夏になると可憐な花々が咲きほこり、美しい景色に出会うことができます。アイルランドの美しい自然を満喫するには、夏がベストシーズンです。

■おたずね
国際交流課 ☎21-6576

健康被害の早期原因究明を

～健康被害原因調査委員会を立ち上げ～



健康被害原因調査委員会の初会合(6月11日、出雲ロイヤルホテル)

5月26日早朝に実施した空中散布が原因ではないかとする目のかゆみなどを訴える被害が発生したことを受け、市では、6月11日、松くい虫防除空中散布後に発生した健康被害原因調査委員会を立ち上げました。

この調査委員会は、▼事実関係の把握に関することと▽健康被害の原因究明に関すること▽健康被害と空中散布の関連に関することなどを調査検証します。委員は、農薬環境科学や薬理学、環境保健医学の専門家や医師、気象台調査官、検査機関の研究部長ら11人で構成されています。また、委員長には、

山本廣基(農薬環境科学)が選出されました。今後、委員会では、資料や数値をどうみるかなど具体的な検証を行い、7月末ごろをめどに結論を市長に報告する予定です。

健康被害原因調査委員会

(敬称略)

区分	氏名	備考	
農学	山本 廣基	島根大学副学長(農薬環境科学)	◎
医学	奥西 秀樹	島根大学医学部教授(薬理学講座)	○
医学	塩飽 邦憲	島根大学医学部教授(環境保健医学講座)	
医学	森田 栄伸	島根大学医学部教授(皮膚科学講座)	
医学	兒玉 達夫	島根大学医学部准教授(眼科学講座)	
医学	中山 健吾	島根県立中央病院副院長(医療局長)	
学校保健	山本由香里	出雲医師会(学校医部会、浜山中校医)	
環境学	植村 振作	元大阪大学大学院理学研究科助教授	
気象学	吉原 範行	気象庁松江地方気象台防災業務課調査官	
検査機関	伊藤 淳次	島根県農業技術センター資源環境研究部長	
保健所	高橋 伸之	島根県出雲保健所環境衛生部長	

計11名/◎:委員長 ○:副委員長

おたずね

- 調査委員会に関すること
環境保全課
☎21-6535
- 松くい虫防除薬剤空中散布に関すること
農林政策課
☎21-6582

市民交流ツアー 8月20日～26日

～緑の大地に根づくケルトの人々と魅惑の文化～

- 8月20日(水) (宿泊)
出雲＝関西空港→航空機(欧州都市経由)
→ダブリン空港……………[ダブリン]
- 8月21日(木) ※ダンレアリー・ラスダウン市長表敬訪問
ダブリン＝モハーの断崖＝ゴールウェイ市内観光
＝ゴールウェイ……………[ゴールウェイ]
- 8月22日(金)
ゴールウェイ＝リムロック市内観光＝コーク市内観光
＝ウォーターフォード……………[ウォーターフォード]
- 8月23日(土)
ウォーターフォード観光＝エニスコーティ＝ダブリン観光
＝ダブリン(市民歓迎交流会)……………[ダブリン]
- 8月24日(日)
ダブリン市内でフリータイム……………[ダブリン]
- 8月25日(月)
ダブリン空港→航空機(欧州都市経由)→……………[機中]
- 8月26日(火)
→関西空港＝出雲
※天候・訪問国の情勢および運輸機関の都合によりスケジュールが変更になる場合があります。

- 旅費/(1人当たり)約380,000円
- 定員/16人(最少催行人員10名)
- 申込期限/7月18日(金)